

DarumaViewer の使用方法 — 入門編

2007 年 1 月 23 日

目次

1	DarumaViewer の概要	1
2	DarumaViewer の使用方法	2
2.1	DarumaViewer の導入	2
2.2	DarumaViewer の実行	2

1 DarumaViewer の概要

DarumaViewer は、Daruma サーバを管理、サーバから FeatureType を取得、Daruma 用のクライアントコマンドの起動を行なうことが可能な高機能な Daruma 用のグラフィカルなクライアントツールである。

主な機能には

1. サーバ管理

データベースの追加、削除機能

2. FeatureType 管理

FeatureType リストおよび FeatureType 情報の取得。ターゲット名前空間、データカウント、スキーマの表示機能

3. コマンド実行

クライアントコマンドツールにある下記のコマンドを実行できる。コマンドの内容については、『クライアントコマンドツール使用方法』を参照。

- DarumaClient
- RegisterFeatureType
- XmlGetFeature
- XmlInsert
- CsvGetFeature
- CsvInsert

2 DarumaViewer の使用方法

2.1 DarumaViewer の導入

DarumaViewer は、`aist.daruma.client.darumaviewer/release` フォルダの zip ファイル (Windows) または tar.gz ファイル (Linux) に格納されている。導入にはこれらのファイルをを展開し、`darumaviewer.exe` (Windows) または `darumaviewer` (Linux) を取り出す。

さらに、DarumaViewer から実行可能なクライアントコマンドを導入し、設定する必要がある。クライアントコマンドは、`ex.aist.daruma.client/release` に格納されている。

DarumaViewer の実行環境に関する詳しい説明は、『DarumaViewer について』を参照されたい。

2.2 DarumaViewer の実行

2.2.1 サーバの管理

1. `darumaviewer.exe` (Windows) または `darumaviewer` (Linux) を起動
2. DarumaViewer にカーソルを移動させ、フォーカスする

サーバの追加 をマウスで選択

3. これによりサーバが追加される
4. DarumaViewer の [設定] をマウスで選択で完了

2.2.2 FeatureType の管理

1. サーバにカーソルを移動し、右クリック「FeatureType リスト取得」を選択
2. FeatureType リストがツリー表示される
3. FeatureType にカーソルを移動し、右クリック「FeatureType 情報の取得」を選択
4. FeatureType 情報が右パースペクティブに表示される

2.2.3 コマンド実行

1. FeatureType にカーソルを移動し、右クリック「(コマンド名) 実行」を選択
2. コマンド実行に必要な設定が右パースペクティブに表示される
設定する項目は、クライアントコマンドでオプションで指定する項目と同じ
3. 「実行」ボタンをクリックすると、処理の結果が出力される

bat ファイル作成項目のチェックにより、実行するコマンドを bat ファイルに格納することができる。フォルダ、ファイル名は各自で指定する。